

③ 紫金山区域

概要

千里丘陵南東端に位置する都市公園で約7.2haの広さです。昔は片山公園や垂水神社付近同様に、すぐ下まで古河内湾が来ていたと考えられます。古来、吉志部神社の林及び吉志部瓦窯跡（国指定史跡）として保存されてきましたが、本市の公園になり、その後平成22年度（2010年度）までは市の事業で、その後も市民グループによるコバノミツバツツジ等の保全活動などが行われています。

哺乳類

全3目 5科 6種（うち現地 2目 3科 3種）
アブラコウモリ、タヌキ、イタチ属の一種（チョウセンイタチ）

鳥類

公園に接して北側に釈迦ヶ池があり、ここに水域の鳥類であるカイツブリ、カワウ、ゴイサギ、ダイサギ、コサギ、アオサギ、カルガモ、バンなどが生息。全12目31科89種（うち現地11目25科44種）
ゴイサギ、ハイタカ、バン、ケリ、カワセミ、センダイムシクイ、キビタキ、オオルリ、クロジなど



アオサギ



トノサマガエル



ニホンアマガエル



アマガエル

凡例

A常緑広葉樹林	E落葉針葉樹林
A1クスノキ林	E1ヌマスギ・メタセコイア林
A2シイ林	E2その他の針葉樹林
A3アラカシ林	F竹林
A4その他の常緑広葉樹林	F1竹林
B常緑針葉樹林	F2タケ・広葉樹混交林
B1クロマツ林	F3タケ・針葉樹混交林
B2アカマツ林	F4タケ・針葉広葉樹混交林
B3スギ・ヒノキ林	G草地
B4その他の常緑針葉樹林	G1シバ地
C常緑落葉混交林	G2ネザサ草地
C1アカマツ・コナラ林	G3低茎草本草地
C2常緑針葉・落葉針葉混交林	G4高茎草本草地
C3コナラ・アラカシ林	G5ヨシ原
C4その他の常緑落葉混交林	G6ガマ草地
D落葉広葉樹林	G7その他の草地
D0その他の落葉広葉樹林	H浮遊植物
D1コナラ・アベマキ林	Iマント群落
D2サクラ林	その他
D3ケヤキ林	J1畑地
D4ポプラ林	J2水田
D5ハリエンジュ林	J3果樹園
D6プラタナス林	J4庭園
D7フウ林	K裸地
D8トウカエデ林	L開放水面
D9エノキ・ムクノキ林	行政界
	調査範囲

両生類・爬虫類

全3目 6科 8種（うち現地 3目 6科 8種）
ニホンアマガエル、トノサマガエル、ウシガエル、ヌマガエル、クサガメ、ミシシippアカミミガメ、ニホンカナヘビ、シマヘビ

昆虫類

博物館横の密生地内で湿地性とされる貴重なコバネササキリが確認されました。

全 10 目 98 科 262 種 (うち現地 10 目 94 科 251 種)

アオモンイトトンボ、ギンヤンマ、ショウジョウトンボ、タマムシ、クビキリギス、ヤマトシジミ、ルリシジミ、ヒメジャノメ、コクワガタ、キベリヒラタガムシ、クロマルエンマコガネなど

植物相

周辺部の開発や公園の整備 (通称メダカの田んぼ消失、瓦公園などの開設、小路新池の整備、上池の整備、五月が丘側の整備の完了など) が進み、植物相が少し変化しました。

全 102 科 385 種 (うち現地 90 科 280 種)

アベマキ、コナラ、クスノキ、コバノミツバツツジ、ヤブコウジ、クロバイ、ゲンゲ、スズメノカタビラ、ナルトサワギクなど

植物群落

丘の南側にはコナラ群落、コナラ・アベマキ群落が、北側にはアカシヤやクスノキ、クロバイなどが一団となって群落を形成しています。また、南側農地にはゲンゲ群落、スギナ群落、スズメノカタビラ群落といった草本群落が分布して、都市公園としては珍しい農地の“のんびりした景観”を創り出しています。



コクワガタ



南側の農地



コバノミツバツツジ



ゲンゲ



ニジュウヤホシテントウ